

2025年10月3日

国の重要無形民俗文化財の「江包・大西御綱」を描いた絵巻を初出陳
帝塚山大学附属博物館 第19回企画展示
「絵画・記録から見る 奈良のハレ」開催中 11/1(土)まで

帝塚山大学附属博物館(館長:清水昭博、奈良市帝塚山7-1-1)では、11月1日(土)まで第19回企画展示「絵画・記録から見る 奈良のハレ」を開催しています。

奈良は、古社寺や遺跡が数多く残されているだけでなく、祭礼や年中行事といった伝統文化も現代まで受け継がれています。

本展では、そうした民俗を記録した本学所蔵の絵画資料6点を、各祭礼や行事の現在の写真とあわせて紹介します。

出陳資料には、『大和名所図会』(寛政3年/1791)、『矢田寺金剛山寺練供養図』(明治13年/1880)のほか、今回が初披露となる『江包のお綱祭絵巻』(昭和27年/1952)を含みます。とりわけ、国の重要無形民俗文化財である「江包・大西御綱」を描いた『江包のお綱祭絵巻』は、絵巻のほぼ全体を展示。写真資料と見比べながら、祭礼の変遷をご覧いただけます。



『江包のお綱祭絵巻』(昭和27年/1952)

第19回企画展示「絵画・記録から見る 奈良のハレ」

【展示/開催期間】 開催中～11月1日(土) 午前9時30分～午後4時30分

【休館日】 日曜日 【入館料】 無料

【帝塚山大学附属博物館】 TEL:0742-48-9700 FAX:0742-48-8783

※開催日時に変更などが生じる場合はHPなどで随時ご案内いたします。

【関連講座】

市民大学講座 第542回 「絵画・記録から見る 奈良のハレ ～古都奈良で伝承される民俗行事～」

【日時】10月11日(土) 14:00～15:30 【講師】西連寺 匠(帝塚山大学文学部講師・附属博物館学芸員)

【場所】帝塚山大学東生駒キャンパス1号館1301教室

貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をくださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本件に関する お問合せ

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimutezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)